**主な取組の進捗状況(平成30年度実績)**

**施策展開**

**重点施策**

【基本理念】

【計画目標】

**高齢者を地域全体で支える保健福祉の仕組み**

**地域包括ケアシステムの構築及び深化・推進**

〇げんきあっぷ（ロコモ予防）教室の開催

参加者数 12,554人(H28年度)⇒14,201人(H30年度)

〇介護予防ケアマネジメント検討会議

検討事例数 年間233事例(H30年度)

〇日常生活圏域コーディネーターの圏域配置

配置数 1名(H28年度)⇒12名(H30年度)*※本部１名含まない。*

1. 介護保険制度の理念周知
2. 介護予防の推進と普及啓発
3. 介護予防ケアマネジメントの推進
4. リハビリテーション専門職を活かした取組の推進
5. 介護予防・生活支援サービス事業の推進
6. 地域の通いの場の創出

**自立支援、介護予防・重度化防止の推進**

**高齢者が安心して暮らせるまち・住まいの基盤整備**

**認知症施策の推進**

安心で　すこやかに　いきいきと暮らせるまち　堺

**生活の安心を支える**

〇在宅医療・介護連携推進事業

医療・介護機関のリストを一元化し、市ホームページに掲載(H30年度)

〇見守りネットワーク事業の推進

登録事業者数 1,970件(H28年度)⇒2,223件(H30年度)

〇ダブルケア相談窓口の充実

相談件数 66件(H28年度)⇒367件(H30年度)

1. 在宅医療・介護の連携強化
2. 地域包括支援センターの運営
3. 在宅生活を支援する多様なサービス基盤の充実
4. 家族介護者等への支援の充実
5. 市民への情報提供の充実や意識の啓発

**在宅ケアの充実および連携体制の整備**

〇ケアプラン点検事業

　点検事業者数 68か所(H28年度)⇒118か所(H30年度)

〇介護サービス事業者表彰制度

　表彰事業者数 6件(H30年度)

〇介護サービス事業者の活動発表会と就職相談会の実施

　活動発表会の参加者数 227人(H30年度)

〇介護相談員派遣事業

　派遣回数 84回(H28年度)⇒139回(H30年度)

1. 介護サービスの質の向上
2. ケアマネジメントの質の向上
3. 介護人材の確保・育成
4. 介護保険施設の適正な整備
5. 介護給付適正化事業の推進
6. 費用負担への配慮
7. 介護保険制度に関する啓発、情報提供、苦情相談等

**介護サービス等の充実・強化**

**すこやかに**

**暮らす**

〇認知症サポーター・認知症キャラバンメイトの育成

　認知症サポーター数 47,002人(H28年度)⇒66,560人(H30年度)

〇認知症初期集中支援チームの充実

　対応件数 59件(H28年度)⇒67件(H30年度)

〇さかい見守りメールの充実

　事前登録者数 360人(H28年度)⇒687人(H30年度)

1. 認知症に関する普及啓発の推進
2. 認知症への適切な対応
3. 認知症家族等への支援や居場所づくり
4. 認知症予防の推進

〇緊急通報システムの周知・拡充

　設置台数 5 ,215台(H28年度)⇒5,083台(H30年度)

〇避難行動要支援者の避難支援の仕組みづくり

　避難行動要支援者支援の取組状況 89校区(H28年度)⇒91校区(H30年度)

〇権利擁護サポートセンターの運営・市民後見人の養成

市民後見人バンク登録者数 延べ68人(H28年度)⇒91人(H30年度)

1. 高齢者が安心して暮らせる住まいの確保
2. 高齢者が暮らしやすい生活環境づくり
3. 災害等緊急時に備えた支援の充実
4. 権利擁護支援の充実
5. 消費者被害の未然防止及び救済
6. 特殊詐欺の被害防止の取組み促進

**いきいき**

**暮らす**

〇専門職による健康教育・健康相談の実施

健康教育受講者数(65歳以上対象) 6,738人(H28年度)⇒17,432(H30年度)

〇健康づくり自主活動グループの育成と活動支援

　登録参加者数 4,935人(H28年度)⇒11,875(H30年度)

〇介護予防普及啓発事業

　講座・教室関係開催回数 474回(H28年度)⇒539回(H30年度)

1. 生涯にわたるこころと体の健康づくり
2. 健康を支える地域社会づくり
3. 生活習慣病などの疾病予防
4. 高齢期特有の健康課題への対策

**健康の保持・増進**

**高齢者の社会**

**参加と生きがい**

**づくりの支援**

〇おでかけ応援制度

年間延べ利用回数 5,778,403回(H28年度)⇒6,080,662回(H30年度)

〇シルバー人材センターの活用

契約件数 18,732件(H28年度)⇒18,555件(H30年度)

〇日常生活圏域コーディネーターの圏域配置（再掲）

配置数 1名(H28年度)⇒12名(H30年度)

1. 情報提供ときっかけづくり
2. 担い手の育成
3. 社会参加の機会の提供
4. 助け合い活動の推進

【計画目標】